

総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

事業期間 H20 ～ H22

担当部局	部局名	建設部
	課室名	上下水道課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
3 - 1 - 2	快適な生活空間に必要な施設環境を整える	
重点施策ID	重点施策名	
- - -		

2. 事業名等			
事業名	生活排水処理事業	事業区分	②
細事業名	公共下水道事業	実施形態	①
事業主体	市		①
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		①
実施期間	平成 17 年度 ～ 平成 22 年度	根拠法規	下水道法
各種の計画への反映（＝根拠計画）		生活排水処理基本計画	事業ID
			22002

3. 事業の内容等			
事業の背景 大野町の中心部（田中地区・田代地区）の生活排水処理は特定環境保全公共下水道事業により整備され、現在は、処理場の保守点検と全施設の維持管理が主務であり、また、繋ぎ込みの推進を行っている。	補助事業	名称	
		補助率	国 県 その他 1/ 1/ 1/
	起債の種類	① ② ③	資本費平準化債
事業の目的及び対象 【目的】 生活排水を適切に処理し水質の改善を図ることで、河川の水質改善を図る。 【対象】 大野町田中、田代	事業概要 公共下水道事業（大野町・・・計画処理人口1,600人 処理能力700m ³ /日）		
	前年度の評価	評価結果に基づき見直した内容	
	E 維持		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		38,400	43,100	46,500	42,700	36,500	
	その他	15,044	9,162	155	121	1,621	1,621	
	一般財源	75,204	46,892	72,374	65,206	65,099	62,769	
	計	90,248	94,454	115,629	111,827	109,420	100,890	
決算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債		38,400	43,100				
	その他	15,361	9,182	262				
	一般財源	74,531	45,619	68,274				
	計	89,892	93,201	111,636				

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成17年度	平成18年度	平成19年度	課題
【実績】 処理人口 904人	【実績】 処理人口 851人	【実績】 処理人口 810人	加入促進を強化する必要がある。

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値										
活動指標	公共下水道への加入者数									
効率指標	前年度決算額＞当該年度決算額 ⇒ 平成21年度は、コスト評価（経済性、効率性、効果性）を実施する。									
成果指標	処理人口								単位 人	
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考			
種別	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口	処理人口			
目標値			1,600	1,600	1,600	1,600				
実績値	904	851	810	820	830	840				
達成率			50.6%	51.3%	51.9%	52.5%				
備考										

総合計画／実施計画書 兼 事業事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	建設部
	課室名	上下水道課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	環境問題が重要視されている昨今、本事業のような集合処理による適切な生活排水処理対策及び衛生環境の向上を図る必要があるため。				
行政との関係	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	施設、機械器具の維持管理は委託によるものであるが、使用料の調定、その他全般業務は行政が実施しなければならないため。				
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	専門的技術、資格を有した者が行うこととなっている施設の維持管理に係る業務を委託により実施しているため。				
事業の成果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	3	事業の効率は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	計画処理区域内における処理人口が約50%となっているため。				
事業の予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	公共下水道事業に係る予算は、施設の維持管理に係る経費であり、年度ごとに一定の予算が必要なため。				
人体制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	本事業を含め農業集落排水事業・合併処理浄化槽整備事業を兼務で実施しているため。				
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	水質保全及び衛生環境を保つためには、今後も継続して、施設の適切な維持管理に努めなければならないため。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、より経済的かつ効率的な運営を行う観点から、移動脱水車による汚泥脱水、施設の維持管理業務等、白杵市野津町と下水道船団方式により、実施している。 ・事業の予算を削減するためには、委託内容及び単価、使用料の見直しを検討する必要がある。 					
部長	課長	班長	担当者	内線 2361 E-mail @bungo-ohno.jp	